



教育・保育理念『善隣のこころ』

いつでもどこでもそしてだれにでもわれら善き隣人たらん



教育・保育方針 『三つのゼン』 安全・自然・積善

すべての子どもが『安全』にすこせる心くばりをする
 すべての子どもに『自然』の大切さを気づかせていく
 すべての子どもの『積善』への努力をみつめていく

教育・保育目標

心身ともに健康な子ども・自然を大切にできる子ども
 自分で考えて行動できる子ども

地域の皆さまこんにちは。いつも本園に対してご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。月津こども園では、子ども達の主体性を大切に日々、教育・保育に励んでいます。子ども達自身が、「こうしたい」という思いを抱きながら自分からしてみようとする事は、子ども達が成長し発達する上で大切なことです。今月号では、年長児のお店屋さんごっこや、豆まきの会で子どもたちが自分たちで考えたアイデアを生かして行ったことや、活動した様子をお知らせしたいと思います。

～園長より～

月津校下の皆様、こんにちは。地域の皆様とお会いすることなくあっという間に令和3年度の教育・保育が終了しようとしています。

今年度を振り返ると前半は4月に入りコロナウイルス感染症の感染者が急速に拡大し、ゴールデンウィークを経て、5月31日まで石川緊急事態宣言が発出されました。子どもたちの大好きなしかわ動物園や昆虫館、水族館などが閉園、閉館されました。その後解除され、こども園も保護者参加の教育・保育活動も少しずつ行うことができました。もうこれで収束に向かうことを願っていましたが残念ながらオミクロン株という感染率が高い新型コロナウイルス感染症に脅かされる毎日を迎えました。多くの園が休園やクラス閉鎖となったり登園自粛の協力を求めたりしています。月津こども園でも少なからずの影響があり、登園自粛されるお子さんもありました。今後も感染対策を徹底していかなければならないと痛感しています。もうしばらくコロナと付き合いをいかなければならないのでしょうか。

さて、今年度は月津こども園が民営化して10年目を迎えます。初代園長藤本義久先生をはじめ、水谷元先生、竹本忠司先生にご尽力いただき10年という歳月が過ぎ、地域に根づくこども園になりつつあります。ここで、月津こども園の「10年のあゆみ」を紹介します。

月津こども園のあゆみ

- 平成24年 4月 月津保育所民営化開始 定員 120名
- 平成25年 8月 空調/建具復旧工事及び大規模修繕工事実施設計
- 平成26年 4月 「月津保育所」を「月津保育園」に名称変更 定員 130名増員
- 平成26年 12月 平成27年度から運営を開始する「幼保連携型認定こども園」への移行に関して認可となる
- 平成26年 11月 月津保育園 空調/建具復旧工事及び大規模修繕工事完了
- 平成27年 2月 月津保育園 落成式
- 平成27年 4月 「幼保連携型認定こども園」月津保育園へ移行し、運営開始。定員 140名
- 平成28年 4月 「幼保連携型認定こども園」月津こども園へ名称変更
- 月津こども園園歌作成
- 平成29年 4月 定員 145名に変更
- 平成30年 2月 ジャングルジム、滑り台の交換
- 3月 砂場の囲いの交換
- 令和元年 2月 エキサイトジャングル新設
- 令和4年 3月 月津こども園 10周年誌完成



～給食室より～

おいしいたのしい節分

2月3日は節分『鬼は外！福は内！節分ランチ』に、以上児の子ども達は恵方巻、豚汁、チーズを食べました。給食室の窓から子ども達のがのそき、巻いている姿をじっと見つめていました。出来上がった恵方寿司を見せると、手をたたいて大喜び！今年度は北北西を向いて、無病息災を願いながら食べました。

未満児の子ども達もカラフルな節分ちらし寿司を「おいしい！」とたくさん食べていました。ピンク色のちよっぴり甘いでんぶが人気でした。



0・1・2歳クラスはちらし寿司



3・4・5歳クラスは恵方巻き



マック屋さんごっこ♪

2月18日にお店屋さんごっこを行いました。年長ひまわり組の子ども達から「マック屋さんしたい！」と要望がありましたので、その日の給食は、つきづバーガー・ポテト・ナゲット・コールスローサラダ・ぶどうジュースを提供しました。レジで「ご注文は？」と聞かれると「ハンバーガー！」「ポテト！」と言い、お盆に乗った商品を自分の机に運びました。いただきます！をすると「本物のマックみたい！」と嬉しそうにハンバーガーをほおばっていました。



年長 ひまわり組

～みんなで考えたお店屋さんごっこ☆～

空き箱やヤクルトカップなど様々な素材を使った物作りが大好きなひまわり組の子ども達☆そこで自分達で作ったものでお店屋さんごっこをすることにしました。

“品物屋さん” “すみっこ屋さん” “こびと屋さん” など3種類のお店に分かれ、どの子もしたいお店は既に決まっていたようで、担当するお店もスムーズに決まりました。「広い遊戯室でやりたい」「あそびの部屋でしたい」などそれぞれの子が商品を『どんな風に置こうか？』『ここでした方が楽しいんじゃないか？』など色々な事を考えながらお店屋さんの設定を自分達でしていました。中には「どうやって商品を並べればいい？」と戸惑うチームもありましたが、「お店に行った時、おもちゃってどんな風に並べる？」とヒントを与えてあげることで「分かった！！」とお客さんが買いたくなるような並べ方を工夫する姿も見られました。

友だちとの思いの違いで意見がぶつかったり、こうする為にはどうしたらいいのかとやりたい事を実現させる難しさや様々な困難にぶつかりました。しかし乗り越えられたのは何より一緒にやりたいという友だちの存在があったからこそだと心から感じた瞬間でした。やり遂げた達成感、商品をお客さんに喜んでもらえたという満足感をたくさん

いらっしゃいませー♪お店は大繁盛！！



サインして欲しい人こっち来てー！



すごい！星みえたよ！



ハンバーガーとポテト 売切れたよ！！

年中 きく組 豆まき ～鬼をやっつけよう！～

2月3日に豆まき会がありました。豆まきが近づくと「鬼来る？」「どんな鬼なんかな・・・」と不安そうな子ども達です。そこで、今年は鬼が来る前に、みんなで鬼をやっつける作戦を考えました。紙芝居や絵本を読み、鬼の苦手な物『やいかがし(柀イワシ)』『炒った豆の匂い』『ネギや豆の皮を燃やしてくさい煙を出す』など知る事ができ、まず子ども達で出来る事はないかと、画用紙や木の枝を使ってやいかがしを作りました。すぐにこども園の玄関に飾り鬼対策を頑張っていました。他にも新聞紙を丸めて大きな豆を沢山作ったり、自分のお腹の中の鬼の絵やお面を作ったりして、自分の中の鬼もやっつけることにしました。

豆まき当日は遊戯室にたくさんのやいかがしを並べてバリアードを作り鬼対策もバッチリ！大きな鬼が2体登場すると勇敢にも鬼の間近で豆を投げる子、泣きながらも必死に豆を投げる子、離れたところから保育教諭に隠れながらも鬼がいなくなるのを待っている子など様々でした。やいかがしの効果抜群で、すぐに鬼は弱っていき、最後にはみんなで「鬼は外！」と撃退成功です。

福の神も登場しホッと一息。無事にお腹の中の鬼も退治し、春の訪れを楽しみにしています。

